

福岡和白病院心臓血管外科で重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対して 僧帽弁手術を受けられた患者様へ

当院心臓血管外科では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。
この研究は当院の臨床研究審査委員会の審査を経て、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症に対する乳頭筋吊り上げ術を追加した僧帽弁形成術に関する多施設共同研究
当院の研究責任者（所属）	心臓血管外科 中島淳博
本研究の目的	重症虚血性僧帽弁閉鎖不全症の弁膜症手術施行後、単純な弁輪形成のみでは僧帽弁逆流の再発が高頻度に見られ、心不全関連有害事象や再入院の引き起こす症例が多い。過去の研究では本疾患群において弁輪形成と同時に左室内の乳頭筋を吊り上げ術を併施することにより良好な成績が報告されている。今回は本疾患群における手術の長期遠隔期成績を全国が多施設における手術成績を検討することで、最適な治療手段の選択を目指す。
調査データ該当期間	西暦2015年1月1日 ～ 西暦2023年12月31日
研究方法	●調査の対象となる患者様 冠動脈疾患、虚血性心臓病が原因で僧帽弁閉鎖不全症を発症し、当院にて僧帽弁手術（弁置換、弁形成）を受けられた方 <電子カルテに記載のある診療情報> 発症日時、手術日時、術前の併存疾患、術後治療経過、術前および術後の心臓超音波検査結果およびその画像
個人情報の取り扱い	全てのデータは、患者様を直接特定できる個人情報は削除し誰のデータかわからなくした（匿名化という）上で統計的処理を行います。研究成果は学会等で発表を予定しておりますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究代表者	研究代表者： 東京慈恵会医科大学 心臓外科 主任教授 國原 孝
お問い合わせ先	福岡和白病院 心臓血管外科 電話：092-608-0001（代表） 研究責任者：中島淳博